

# よむぞうだより

令和4年6月 No.185号



## 蔵書点検へのご協力ありがとうございました。

この度、水巻町図書館は5/20～5/31の12日間というお休みを頂き、蔵書点検を行わせていただきました。蔵書点検とは、古くは「曝書(ばくしょ)」とも言われていた点検作業です。

ちなみに、曝書とは本を虫干しにしたり、風を通したりする作業です。この名残から、現在も蔵書点検を曝書という図書館もあります。

期間中、館内では棚を綺麗にし、およそ15万冊超の本を、1冊1冊点検しました。

整理した本は棚ごとに専用の機器で読み込み、所蔵データと照合して紛失や汚破損、場所違いの本がないかどうかスタッフ総出で探します。蔵書点検は、利用者の皆様により快適に図書館を利用していただくために必要な、大切な期間でもあるのです。

休館中は大変ご不便をおかけいたしました。より良い図書館を目指して、職員・スタッフ一同頑張っておりますので、今後ともよろしくお願い致します。

☆裏面では図書館の裏側や、蔵書点検での様子を紹介します◎

## 6月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1 ★	2	3	4 ★
5	6	7	8 ★	9	10	11 ★
12 ★	13	14	15 ★	16	17	18 ★
19 ★	20	21 ★	22	23	24	25 ★
26 ★	27	28	29	30		

は休館日です。

★マークはイベントが開催される日です。

開館時間 午前10時～午後6時

〒807-0012 福岡県遠賀郡水巻町古賀3-18-1

TEL 093-201-5000(図書館)

TEL 093-201-0999(歴史資料館)

FAX 093-201-0995(共通)

http://www.library.mizumaki.fukuoka.jp

## 映学会(場所:視聴覚ホール\*無料)

親子deシネマ



6月19日(日)

「赤毛のアン」

開 場: 14時45分

開 演: 15時00分

上映時間: 1時間30分

図書館deシネマ



6月21日(火)

「教誨師」

開 場: 10時45分

開 演: 11時00分

上映時間: 1時間54分

## 6月のイベント案内



### おはなし会(場所:視聴覚ホール)

たんぽぽ 4日(土) 14:00から	赤ちゃんと楽しむおはなし会(図書館スタッフ) 8日(水) 11:00から
ともしびの会 11日(土) 11:00から	絵本ミュージカル 11日(土) 14:30から
ぷぷら 18日(土) 14:00から	図書館スタッフによるおはなし会 26日(日) 14:00から
ピノキオ文庫 25日(土) 11:00から	



### ピアノ演奏(場所:エントランスホール)

CHIKAさん  
第1・3水曜日 11:30から

渡邊 博さん  
毎週土曜日 12:00から

### その他のイベント(場所:視聴覚ホール)

大人のための朗読会(朗読の会 言の葉)  
11日(土) 13:00から

タミー先生と英語であそぼう  
12日(日) 11:00から

折り紙教室(ボランティア水巻)  
25日(土) 13:30から

\*行事は予告なく変更・中止になることがあります。

## スタッフ注目の一冊

BEST



一般書

『里山のシナのほぼ片づけ日記』

株式会社 PHP エディターズ・グループ

著者 里山のシナ

### モノをひたすら片づけた 1年半の記録

2020年の春、長野県に住む30代の夫婦がある古民家を購入しました。山林、農地、宅地あわせて1万1200坪になる広大な敷地に、建物が4棟あり、いずれも残置物で足の踏み場もない状態です。売主も、荒れるばかりの実家に悩みあぐね、「タダでいいので、このまま引き取ってほしい」と、お手上げの様子。

ものづくりを気兼ねなくできる環境を探していた椎名さん夫婦は、2拠点生活を続けながら、庭木の伐採、草刈り、ビニールハウスや建造物の解体撤去などを極力自分たちの手で行っていくことにしました。

時々プロの手も借りつつ、夫婦2人で片づけていく様子は動画サイト YouTube でも見ることができます。

(スタッフM)



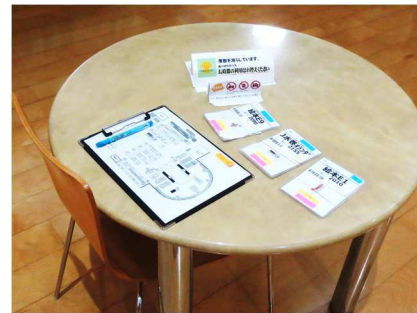
# 蔵書点検の記録



年に一度の大仕事「蔵書点検」  
今月のよむぞうだよりは、いつもと違った雰囲気図書館をご案内します。



◀まずは書架の本をきちんと順番通りにならべる作業からスタートです。読み込み作業をしやすいように、場所によってはブックトラックも活用していきます。カウンターには機材も並ぶので、久しぶりにアクリル版を撤去しました。



▶紙芝居はページの抜けや間違いがないかどうか、ひとつひとつ確認していきます。



▲人のいない図書館は独特の雰囲気です。読書席も良い作業机になっています◎。



◀いよいよ本の読み込み作業です！特殊な機械を本の間に差し込むと、自動で前後の本を認識できるようになっています。本の厚みなどによりうまく認識できないこともあるので、読み込み音が鳴らなくなるまで何度かためていきます。



▼カウンターうしろにも本が並んでいます。



◀棚は、裏も表もひとりで点検していきます。一棚あたりの本の冊数は、およそ 1100~1500 冊ほどです。(多いところは 3000 冊を超えることも！)

◀DVD や CD はひとつひとつ、バーコードで読み込んでいきます。貸出中のものもふくめると、DVD が約 1500 点、CD が約 3200 点あります。利用は少ないですが、図書館ではカセットもまだまだ現役なんですよ。



◀週末明けに出勤すると、ブックポストに返却本の山が！  
蔵書点検期間中はシステムが停止して返却作業ができないので、視聴覚ホールに分類ごとに仕分けして中を確認し、保管しておきます。



## 閉架書庫での作業



▲一階の閉架書庫です。絵本や物語、図鑑に至るまで子どもの本が保管されています。上部までぎっしり本が詰まっているので、おきな梯子をつかって点検作業を行います。



◀二階の閉架書庫です。二階には一般書(いわゆる大人向けの本)が小説や辞書なども含め、すべてのジャンルが並んでいます。こちらに保管されている本は、自動で読み込むことができないので、バーコードで一冊ずつ読み込んでいきます。およそ 3 万冊、スタッフも交代しながら頑張りました！(書架は手前のハンドルで動かすことができますよ)



## 読み込み作業終了



◀読み込み作業が無事終了すると、次は不明本の探索です。本来あるべき場所にいなかった迷子の本たちを、読み込んだデータをもとに探していきます。こうして無事見つかった本は、情報を訂正して、しっかり本来の場所に戻してあげました。

こうして今年も無事に蔵書点検を終わることができました。職員・スタッフも、館内の本としっかり向き合うことができる充実した時間を過ごすことができました。みなさま本当にご協力ありがとうございました。

